

酒井茜 & マルタ・アルゲリッチ
ピアノ・デュオ・リサイタル

©Yoshihiro Koseki

©Bernard Rosenberg

Akane Sakai & Martha Argerich

Piano Duo Recital

モーツァルト：4手のためのピアノ・ソナタ ニ長調 K.381/123a
W. A. Mozart : Sonata for Piano Four-Hands in D major K. 381/123a

プロコフィエフ / プレトニョフ編曲 (2台ピアノ)：組曲「シンデレラ」op. 87
S. Prokofiev / arr. M. Pletnev : Cinderella, op. 87

ストラヴィンスキー / 自身による編曲 (2台ピアノ)：春の祭典
I. Stravinsky : The Rite of Spring

©Bernard Rosenberg

2019 **10/1** [火] 19:00 開演 (18:30 開場) サントリーホール
Tuesday, October 1, 2019 at 7p.m. Suntory Hall, Tokyo

料金：S ¥ 16,000 A ¥ 13,000 B ¥ 10,000 C ¥ 7,000 D ¥ 4,000

全席指定・税込 ※演奏者の都合により曲目等が変更になる場合があります。※未就学児の入場はご遠慮ください。

7/6 [土]
10:00
一般発売

主催：ミュージックプラント  協力：株式会社キングインターナショナル ナクソス・ジャパン株式会社

会員限定先行受付

ミュージックプラント 6/27(木) 12:00～7/5(金) 18:00 TEL:03-3466-2258 (事前に会員登録が必要です)

カジモト・イープラス 6/27(木) 12:00～6/30(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL:0570-06-9969 [10:00～18:00 (初日のみ12:00より受付)]

チケット取り扱い

カジモト・イープラス www.kajimotoeplus.com 0570-06-9960 (10:00～18:00)

ミュージックプラント 03-3466-2258 www.mplant.co.jp/

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00 年末年始・休館日を除く) <http://suntory.jp/HALL/>

チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード：155-437) <http://t.pia.jp/> (PC&携帯) イープラス <http://eplus.jp/> (PC&携帯)

お問い合わせ：カジモト・イープラス ☎ 0570-06-9960 ミュージックプラント ☎ 03-3466-2258

©Adoriano Heitman

酒井茜とマルタ・アルゲリッチによるピアノ・デュオ

酒井とアルゲリッチのデュオは、2005 年のブエノスアイレス アルゲリッチ音楽祭にはじまりルガーノ、パリ、リヨン等ヨーロッパ各地で、またラ・フォル・ジュルネ東京でも共演している。特に 2014 年に行われた 2 人による「春の祭典」は、聴衆の度肝を抜いた演奏だったと語り継がれている。また、今回はモーツァルトの「4 手のためのソナタ」とプレトニョフがアルゲリッチとのデュオのために編曲したプロコフィエフの「シンデレラ」が演奏される。

2014 年以来的 2 人の国内でのデュオに期待が高まる。

Akane Sakai

名古屋生まれ。ピアノ教師の母のもと、幼少よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学にて三浦みどりに師事。卒業後ベルギー渡り、ブリュッセル音楽院にてエフゲニー・モギレフスキー、ルーヴァン音楽院ではアラン・ヴァイスの元 1 等賞を得て大学院過程を卒業。その後パーヴェル・ギリロフ、リリア・ジルベルシュタインに師事し研鑽を積む。NPO 法人イエローエンジェル奨学生、文化庁海外派遣新進芸術家研修生に選ばれた。

クレメラータ・バルティカ、シンフォニア・ヴァルソヴィア、スイス・イタリア語放送管弦団、東京交響楽団、マンチェスター室内管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団などのオーケストラとアレクサンドル・ヴェデルニコフ、ジャン・ジャック・カントロフ、大友直人、ガボール・タカーチ・ナジなどと共演。

数々の音楽祭から招待されており、ラ・フォル・ジュルネ（東京、ナント）、PMF 音楽祭（札幌）ラ・ロック・ダンテロン（フランス）、ショパンと彼の音楽祭（ポーランド）、ルガーノ音楽祭（スイス）、別府アルゲリッチ音楽祭などがある。

バッハからプロコフィエフ、バルトーク、武満までレパートリーは幅広く、最近では特にシマノフスキ、マチエフスキ、ヴァインベルグ、シュピルマンなど第 1 次世界大戦後のポーランド系ユダヤ人作曲家の作品の発掘に力を注いでいる。

室内楽にも造詣が深く、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、イザリー・ギトリスから信頼が厚く、共演の数も多い。堀米ゆず子、木嶋真優、川本嘉子、ニコラ・アンゲリッシュ、ボリス・ベレゾフスキー、エフゲニ・ボジャノフとも息の合った演奏を聴かせている。録音はワーナーミュージック、グラモフォンよりルガーノ音楽祭のライヴ、初のソロ CD がキングインターナショナルから発売され、レコード芸術誌特選盤に選ばれた。

2018 年よりドイツ・ハンブルクでのアルゲリッチ・フェスティバルにおけるアーティスト・プランナーとしても活躍している。

Martha Argerich

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。スカラムツツアのもとでピアノを始め、すぐさま公の場で演奏するようになった。1955 年に奨学金を得てヨーロッパに渡り、ロンドン、ウィーン、スイスでザイドルホーファー、グルダ、マガロフ、リパッティ夫人、ステファン・アスケナーゼに師事。1957 年のブゾーニおよびジュネーヴの国際コンクール、そして 1965 年のワルシャワのショパン国際コンクールで優勝。以後、20 世紀から今世紀にかけて目覚ましい芸術活動を展開している。ヨーロッパ、日本、アメリカにて世界一流のオーケストラや指揮者、音楽祭などから頻りに招かれているほか、室内楽にも熱心に取り組んでおり、とりわけピアノのネルソン・フレイレ、チェロのミッシェル・マイスキー、ヴァイオリンのギドン・クレーメルとは多くの共演を重ねてきた。

アルゲリッチが室内楽やオーケストラとの共演を録音した CD は各レーベルでリリースされている。1996 年、フランス政府より芸術文化勲章オフィシェを受賞、1997 年にはローマ・サンタ・チェチーリア協会に任命される。

1998 年より「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督をつとめる。1999 年、「マルタ・アルゲリッチ国際ピアノコンクール」をブエノスアイレスで創設。2001 年、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ国際賞が贈られた。2002 年 6 月、スイスのルガーノで「マルタ・アルゲリッチプロジェクト」を開催、芸術監督として親しいソリスト達とともに出演を続けた。日本では「高松宮殿下記念世界文化賞」および「旭日小綬章」（2005 年）と旭日中綬章（2016 年）アメリカでは「ケネディ・センター名誉賞」（2016 年）を受賞した。

2015 年被爆 70 周年記念コンサートに広島と東京で広島交響楽団と共演したアルゲリッチは、広響の Music for Peace のコンセプトに共感し、同年広島交響楽団の「平和音楽大使」に就任、世界の音楽家たちが広島に集まり、共同芸術創造を行うプロジェクトの推進役を務めている。2018 年よりハンブルク交響楽団と新しいプロジェクトとしてアルゲリッチ・フェスティバルを始めた。

凄すぎる迫力、ロックのようなリズムとテンポ 神業としか言いようのない一期一会の記録



ストラヴィンスキー（作曲者編）：
バレエ音楽「春の祭典」（4手版）
プロコフィエフ：
ピアノ・ソナタ第3番イ短調Op.28
プロコフィエフ：
バレエ音楽「ロミオとジュリエット」Op.75
～少女ジュリエット／モンテスキとカプリッチ
／マーキュシオ
ラヴェル（酒井茜編）：
マ・メール・ロフ（独奏版）
酒井茜（ピアノ）
マルタ・アルゲリッチ（ピアノ／春の祭典）
【録音：2014-15年】
●KKC 039 日本語解説つき／オープン価格

Avanticlassic 速報！ 9 月発売予定



RENDEZ-VOUS with MARTHA ARGERICH

マルタ・アルゲリッチと
仲間たちによる最新盤！
2018 年ハンブルクでのライヴが
CD7 枚組の BOX で登場します。